

4 「上田市 鈴子整備利用地域」 開かれた里山の整備・利用計画について

(1) 里山整備利用地域の名称等

名 称	上田市 鈴子整備利用地域
協議会	鈴子緑のフォレスト倶楽部
認定年月日	令和6年2月15日
認定面積	37.85 ha



(2) 活動実績等

① 里山整備利用地域の特徴

本里山整備利用地域の中心となる鈴子山々頂には、「四柱神社」がある。また、集落に近い場所には、碓氷峠の熊野皇大神社から分祀した「熊野宮（大正十年に火災で焼失）」跡があるなど史跡が多く、昔から地域住民に親しまれてきた。

また、マツタケの産地であったことから、今でも地域内に「松茸小屋」がある。

本里山整備利用地域 37.85haのうち、約4割にあたる15.13haが「鈴子共栄殖産組合」の所有。当組合が母体となって「鈴子緑のフォレスト倶楽部」が設立

② 里山整備利用地域における協議会の活動状況等

- ・ 松くい虫対策のため、アカマツ林から他樹種への樹種転換
- ・ 伐採の跡地へのスギ・カラマツ等を植栽、保育
- ・ アカマツの保護と景観維持のため、松枯れ予防樹幹注入剤による松くい虫防除対策と抵抗性アカマツの植樹
- ・ 鳥獣被害対策としてシカ防護柵の設置。柵補修などの維持管理と下刈りを実施



鈴子山々頂



里山全景



熊野宮跡（大ケヤキ）

(3) 「開かれた里山」としての整備・利用の方針等

① 「開かれた里山」の対象とする里山整備利用地域の面積及び位置

面積： 37.85ha

位置： 里山整備利用地域 全域

② より多くの県民等が広く親しめる「開かれた里山」づくりの考え方

- ・ 史跡・文化財を含め里山一帯を地域住民の憩いの場として活用する。
- ・ 四柱神社、熊野宮跡地等へ続く遊歩道をウォーキングコースとして活用し、地域住民の健康づくりに役立てる。
- ・ まつたけ、竹材など里山の資源を有効利用する。
- ・ 小学校入学記念樹として、サクラの植樹

③ 「開かれた里山」における森林整備の方針及び協議会の活動

- ・ 史跡・文化財及び遊歩道周辺のアカマツ枯損木の除去
- ・ 史跡・文化財周辺等のアカマツに樹幹注入などによる松くい虫被害対策を実施して、景観の保存
- ・ 四柱神社参道及び遊歩道の支障木伐採・維持管理、花木の植栽を実施
- ・ 地元新入学児童の記念植樹祭の開催
- ・ 七夕祭りなどに活用する竹林の伐採、竹材の提供

(4) 県民協働による里山の整備・利用事業(「開かれた里山」)の整備・利用の全体計画

単位：ha、万円

計画内容	R6	R7	R8	R9	R10	計
「開かれた里山」における森林整備 計(ha)	0.7	0.9	1.6	1.3	1.2	5.7
花木等の植栽(ha)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.6
修景林間整備(ha)(除伐、間伐)	0.3		0.5			0.8
下刈り(ha)	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	3.0
竹林整備(ha)		0.3	0.3	0.3		0.9
付帯施設等整備(遊歩道整備)(m)	200	200	200	200	200	1,000
地域活動推進事業	29			35	35	99
資源利活用推進事業	68			34.5	10	112.5
「開かれた里山」における 地域活動推進事業		30	30			60
「開かれた里山」における 資源利活用推進事業		50	25			75

(5) 「開かれた里山」における県民等の利活用計画人数

計画の内容	R6	R7	R8	R9	R10	R11	合計
イベント等による利活用計画人数(人)	30	40	50	50	50	50	270
イベント以外の利活用計画人数(人)	20	30	50	50	50	50	250
合計(人)	50	70	100	100	100	100	520